

第6章 計画の推進

第1節 計画の推進体制

1 計画の主体とそれぞれの役割

本計画は、市・市民・事業者・市民団体が自主的に取組を進めながら、連携・協働のもとに推進していく計画です。つまり、本計画を推進していく主体は、行政組織である市だけではなく、那覇市で生活・活動する全ての市民・事業者・市民団体です。

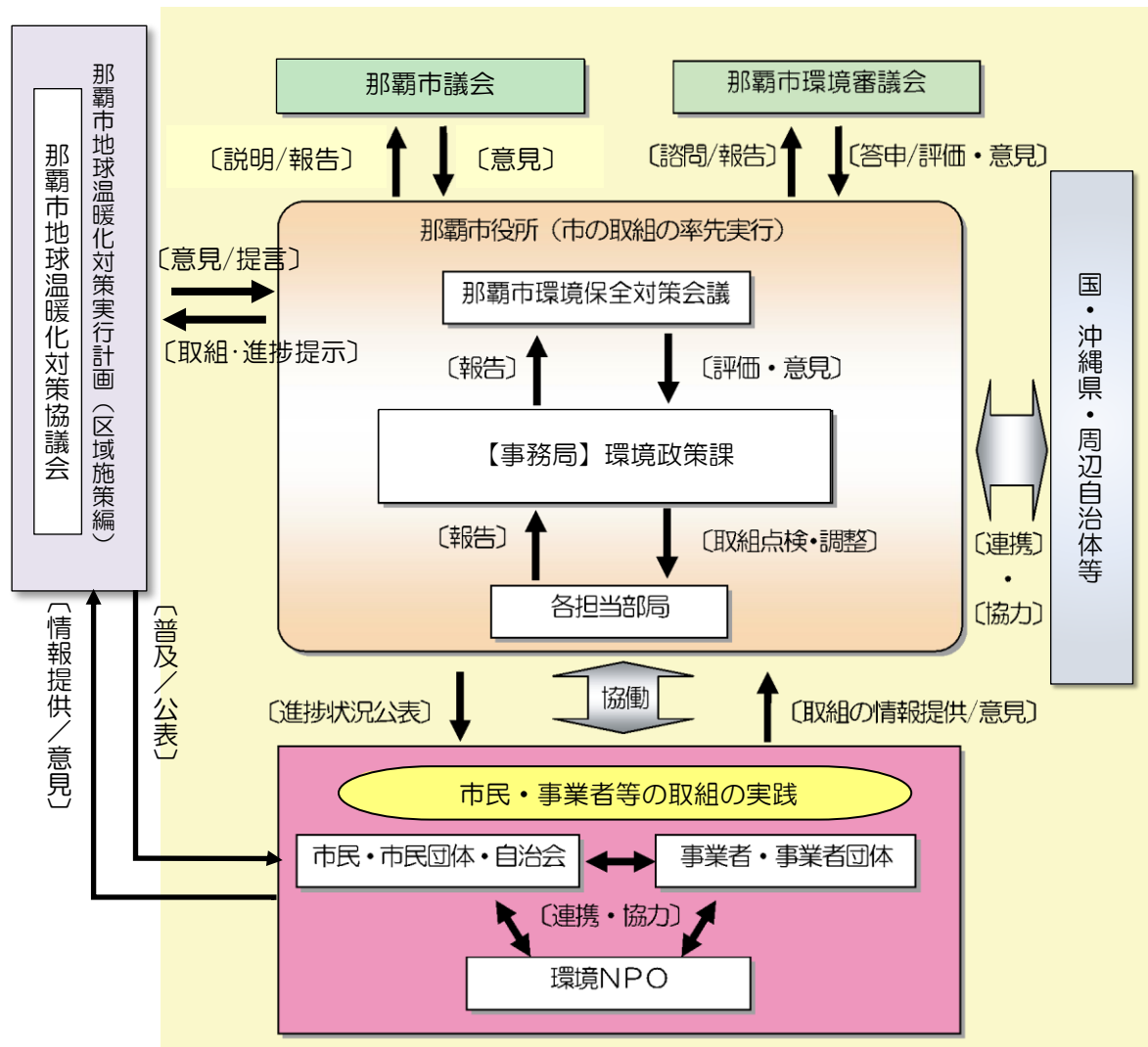
市・市民・事業者・市民団体のそれぞれの基本的な役割は、以下のとおりです。



図 6-1 市・市民・事業者・市民団体の連携・協働のイメージ

2 計画の推進体制

本計画の推進は、以下のような体制で進めます。



名称	役割
那覇市議会	◇環境基本計画に対する意見を述べます。
那覇市環境審議会	◇那覇市環境基本条例に基づき設置される、市民、学識経験者、市民団体の代表、事業者の代表、那覇市以外の関係行政機関の職員などから構成される組織です。 ◇専門的かつ広域的な視点から計画の進捗状況や成果を評価し、計画の見直しや市への提言などを行います。
那覇市環境保全対策会議	◇庁内関係部局で構成される組織で、副市長、部長級で組織される「対策会議」と、環境部長、副部長級で組織される「対策会議幹事会」があります。 ◇各担当部局の関連計画・事業の進捗状況などに応じて、全庁的な調整を行います。
那覇市地球温暖化対策協議会	◇協議会の目的に賛同する市民、市民団体、事業者、NPO及び行政機関等並びに学識経験者から構成される「協議会」組織です。協議会役員と幹事で構成される「幹事会」があります。 ◇地球温暖化対策の普及促進や情報提供、環境学習等の事業を行います。 ◇地球温暖化対策に関する専門的かつ広域的な視点から計画の進捗状況や成果を評価し、市へ意見・提言などを行います。

図 6-2 本計画の推進体制

第2節 計画の進捗管理

1 進捗管理の考え方

本計画の進捗管理は、「GPDCA サイクル」を用いて行います。

「GPDCA サイクル」とは、「①Plan（計画する）」→「②Do（計画に基づき実行する）」→「③Check（進捗状況や取組効果を点検・評価する）」→「④Action（評価結果を踏まえて計画や取組を見直す・改善する）」の4つのステップに加え、「⑤Goal（計画最終年度（2030年度）の目標）」を設定し、本計画や計画に基づく取組の継続的な改善と向上を行う進捗管理の仕組みです。

本計画では、「Do（実行する）」はもちろんですが、その結果を「Check（点検・評価する）」し、さらなる取組に結びつける「Action（見直す・改善する）」を重視して、計画の実効性を高めていきます。

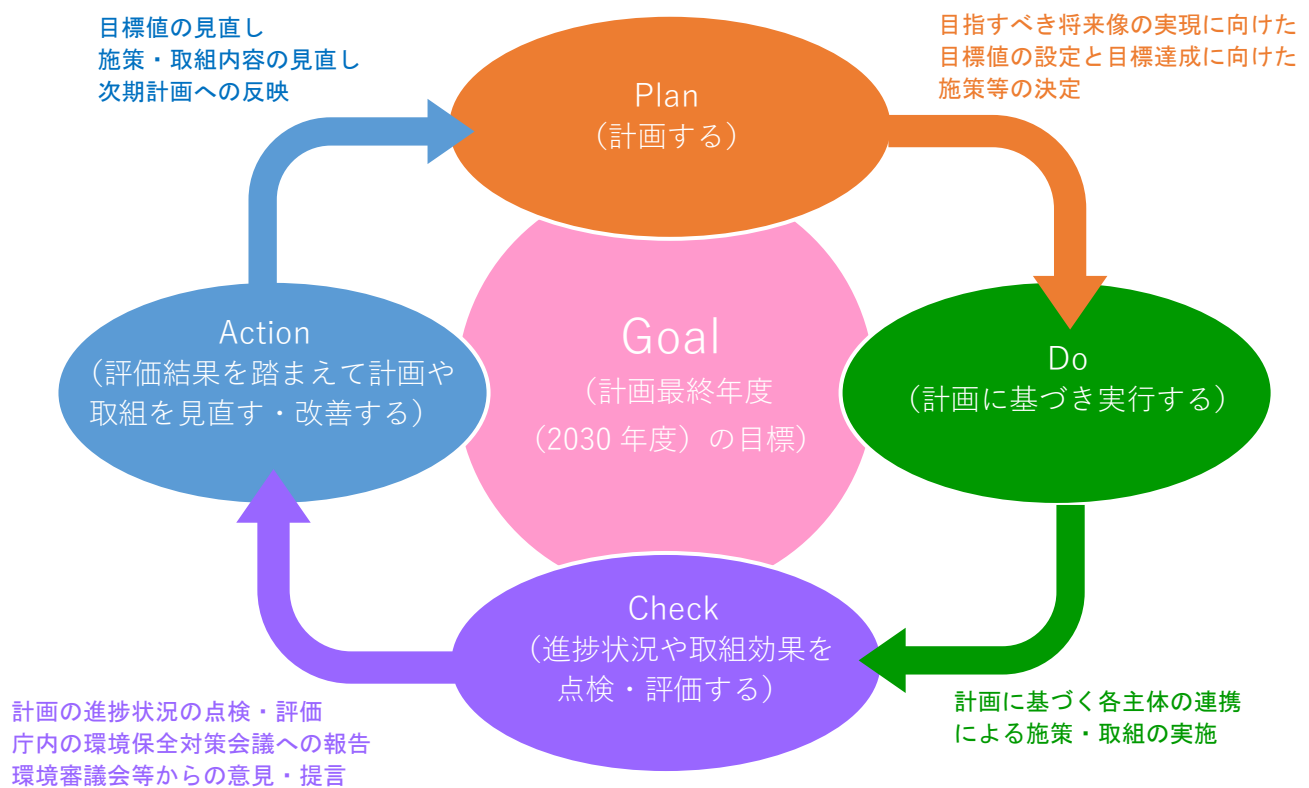


図 6-3 GPDCAサイクルによる進捗管理

2 進捗管理の手順

本計画の進捗管理は、以下の手順で行います。

(1) 取組の点検と自己評価

- ① 市・市民・事業者は、それぞれの取組状況について、自ら点検・自己評価を行います。
- ② 目標達成状況は、取組の柱ごとに設定した指標について評価します。また、取組を進める上で継続的にモニタリングする指標についても把握し、評価の参考とします。
- ③ 市は「事務局」において、施策や事業の評価を行い、「那覇市環境保全対策会議」に報告します。
- ④ 市民の環境に対する満足度や、市民・事業者の取組の進展を総合的に把握、評価するために、目標で設定した指標についてのアンケート調査を計画最終年度 2030（令和 12）年度に実施します。

(2) 那覇市環境審議会の開催

- ① 「事務局」は、市の取組の点検・自己評価結果を「那覇市環境審議会」に報告します。
- ② 「那覇市環境審議会」は、審議会委員の専門分野の視点（学術的な視点や各委員の活動の実績等）からの全体評価・提言を行います。

(3) 那覇市地球温暖化対策協議会の開催

「那覇市地球温暖化対策協議会」は、地球温暖化対策に関する市からの取組・進捗提示を踏まえて、専門的かつ広域的な視点から計画の進捗状況や成果を評価し、市へ意見・提言などを行います。

(4) 進捗状況の公表

点検・評価結果を年次報告（環境報告書（那覇市の環境）、第2次那覇市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）進捗管理報告）としてとりまとめ、ホームページで広く公表します。

表 6-1 本計画の進捗状況の公表内容

年次報告の種類	公表内容
環境報告書（那覇市の環境）	◇「取組の目標」に対する達成状況や、市の取組状況、今後の取組方針などを報告します。 ◇評価結果を踏まえて実施する施策や事業の概要（方向性や予定等）についても記載します。
第2次那覇市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）進捗管理報告	◇温室効果ガス排出量や施策の実施状況を把握・評価し、的確かつ具体的な対応について報告します。

(5) 計画全体の点検・見直し

- ① 2030（令和 12）年度では、7年間の進捗状況を総合的に点検・評価し、計画全体の見直しを行います。

- ② 2030（令和 12）年度の計画全体見直しの段階で、「那覇市環境審議会」に報告し、提言を受けます。

3 計画の実効性を高めるための取組

(1) 市が行う環境関連施策や事業の積極的な広報

- ① 本計画の内容はもとより、市が策定・実施している環境関連計画・施策・事業などを、市の公式ホームページや広報なは（市民の友）、出前講座等を用いて、積極的に紹介します。
- ② 市が主催する環境関連イベント等の場で、本計画を積極的にPRします。

4 取組の目標とモニタリング指標

本計画の取組の目標とモニタリング指標を以下に示します。

表 6-2(1) 本計画の取組の目標

取組の柱	指標	現状	目標 (2030 年度)
1-1：きれいな空気を守る	大気環境基準（一酸化炭素、二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質）の達成率（地点数 2）	100% (2022 年度)	100%
1-2：静かな環境を守る	自動車騒音環境基準（面的評価区間）達成率	99.6% (2022 年度)	100%
1-3：きれいな水を守る	河川の水質が改善している箇所の割合（BOD 値 5mg/L 以下）	95.2% (2022 年度)	96%
	類型指定されている海域水質環境基準の達成率（COD 値 2mg/L 以下）	66.7% (2022 年度)	100%
	下水道処理人口普及率	98.3% (2022 年度)	98.9%
	下水道接続率	96.8% (2022 年度)	97.5%
1-4：有害化学物質から生活を守る	環境中のダイオキシン類濃度の環境基準達成率	100% (2022 年度)	100%
	有害大気汚染物質の環境基準の達成率	100% (2022 年度)	100%
1-5：自然を守り・自然とふれあう	自然観察会等へ参加する市民の満足度	98% (2022 年度)	85%
1-6：緑あふれるまちをつくる	市道街路樹の植栽本数	13,617 本 (2022 年度)	13,617 本
1-7：県都にふさわしいまちなみをつくる	都市景観資源の指定件数	70 件 (2022 年度)	86 件
	都市景観形成地域における赤瓦等の工事への助成数(累計)	244 件 (2022 年)	319 件

表 6-2(2) 本計画の取組の目標

取組の柱	指標	現状	目標 (2030 年度)
1-8：衛生的なまちをつくる	犬の収容数	58 頭 (2022 年度)	70 頭
	猫の収容数	34 頭 (2022 年度)	50 頭
	狂犬病予防注射接種率	61% (2022 年度)	63%
2-3：低炭素なまちをつくる	公共交通利用者数（モノレール利用者数、乗合バス（市内線）利用者数）	合計 1,994.8 万人/年 (2022 年度)	合計 3,788 万人/年
	那覇市自転車ネットワーク計画に基づく自転車通行空間の整備	2.9 km (2022 年度)	16.1 km
	常住地別通勤・通学時の自転車利用率	5.1% (2022 年度)	6.0%
	温室効果ガスの排出量（CO ₂ 換算）	1,986.1 千 t (2021 年度)	1,592.1 千 t
	エコオフィス計画の実績	29,468 t-CO ₂ (2022 年度)	28,571 t-CO ₂
	LED 防犯灯の新設・改修に対する補助件数（単年・累計）	261 件（単年） 2,040 件（累計） (2021 年度)	370 件（単年） 5,233 件（累計）
2-4：循環型社会をつくる	1 人当たり 1 日のごみ排出量	740 g/人日 (2022 年度)	713 g/人日
	資源化（リサイクル）率	18.3% (2022 年度)	25%
2-5：気候変動適応策を推進する	自治会等に対して実施する防災講話等の実施回数（単年度）	8 回 (2022 年)	25 回
	災害時応援協定締結事業者数（累計）	110 事業者 (2022 年)	200 事業者
2-6：広域的な取り組みを進める	那覇市地球温暖化対策協議会の会員数（法人・団体）	52 法人・団体 (2022 年度)	65 法人・団体
3-1：環境を大切にする人を育てる	環境学習等の開催教室数	267 教室 (2022 年度)	162 教室
	環境推進員の登録人数	49 人 (2022 年度)	55 人
3-3：環境保全に取り組む人々を応援する	公園ボランティアの参加団体数	245 団体 (2022 年度)	262 団体
	道路ボランティア、グリーン・ロード・サポーター活動団体数	181 団体 (2022 年)	205 団体
	緑化推進事業への市民参加数	5,997 人 (2022 年度)	5,160 人
4-1：環境に配慮した産業を育成する	那覇市地球温暖化対策協議会ホームページにおける企業の取組事例公開件数	7 件 (2022 年度)	15 件

表 6-3(1) モニタリング指標

取組の柱	指標	現状	方向性
1-5：自然を守り・自然とふれあう	環境配慮マニュアルに従った公共工事の件数	(完了) 20 件 (継続) 12 件 (2022 年度)	増加
1-6：緑あふれるまちをつくる	公園緑地等面積	207.1ha (2022 年度)	増加
	一人当たり都市公園面積	6.02 m ² /人 (2022 年)	増加
1-9：まちの美化を推進する	不法投棄関係苦情要望数	620 件 (2021 年度)	減少
2-1：再生可能エネルギー等を普及させる	太陽光発電導入件数	62 件 (2021 年度)	増加
	太陽光発電導入総容量 (kW)	350kW (2021 年度)	増加
	公共施設への太陽光発電システム等の導入推進	2 件 (2022 年度)	増加
	廃棄物発電の発電量実績 (那覇・南風原クリーンセンター)	4,447 万 kWh (2021 年度)	増加
2-2：省エネルギー等を促進する	長期優良住宅の認定件数	40 件 (2022 年度)	増加
	低炭素住宅の認定件数	4 件 (2022 年度)	増加
	1 世帯当たりの電力消費量 (千 kWh/世帯・年)	4.7 千 kWh/ 世帯・年 (2020 年度)	減少
	延床面積当たりの電力使用量 (kWh/m ²)	121.1kwh (2020 年度)	減少
	エコチューニングによる実績(本庁舎)電気	2,559,650kWh (2021 年度)	減少
	エコチューニングによる実績(本庁舎)ガス	260,418m ³ (2021 年度)	減少

表 6-3(2) モニタリング指標

取組の柱	指標	現状	方向性
2-3：低炭素なまちをつくる	電気自動車・ハイブリッド自動車保有台数	122,835 台 (2020 年度)	増加
	シェアサイクル用駐輪場	83 箇所 (2022 年度)	増加
	コージェネレーションシステム導入(業務)	2 件 (2021 年度)	増加
2-4：循環型社会をつくる	拠点回収事業実施団体数	36 カ所 (2022 年)	増加
2-5：気候変動適応策を推進する	水資源有効利用・節水計画書提出件数	345 件 (2022 年度)	増加